

4. 補足情報

(1) 主な製品の売上収益と予想

(単位：億円)

製品名	2025年3月期 第3四半期連結累計期間						当連結会計年度				
	累計実績				前年同期比		前回 予想	前回予想 からの 修正額	修正 予想	前期比	
	4~6 月	7~9 月	10~12 月		増減額	増減率				増減額	増減率
オプジーボ点滴静注	321	306	333	960	△189	△16.5%	1,250		1,250	△205	△14.1%
フォシーガ錠	222	215	250	687	112	19.5%	890		890	129	16.9%
オレンシア皮下注	69	66	73	208	7	3.7%	270		270	12	4.5%
グラクティブ錠	50	46	50	147	△20	△12.2%	185		185	△27	△12.7%
ベレキシブル錠	27	25	30	82	3	3.1%	100		100	△2	△2.1%
カイクロリス点滴静注用	23	22	24	69	△2	△2.6%	95		95	4	3.9%
パーサビブ静注透析用	21	21	24	66	2	2.8%	85		85	3	3.3%
オンジェンティス錠	19	18	22	60	11	22.5%	75		75	12	18.8%
【海外】											
オプジーボ	31	34	35	100	9	10.2%	135		135	13	10.9%
キンロック		81	92	173			235	15	250		

- (注) 1. 国内製品商品は、仕切価格（出荷価格）ベースでの売上収益を開示しております。
 2. 海外製品商品は、正味売上ベースでの売上収益を開示しております。

(2) 売上収益の内訳

(単位：億円)

	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	2025年3月期 第3四半期連結累計期間
製品商品	2,469	2,569
ロイヤルティ・その他	1,430	1,177
合計	3,899	3,746

- (注) 「ロイヤルティ・その他」の中には、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社からの「オプジーボ点滴静注」に係るロイヤルティ収入が、前第3四半期連結累計期間には739億円、当第3四半期連結累計期間には863億円、メルク社からの「Keytruda®」に係るロイヤルティ収入が、前第3四半期連結累計期間には389億円、当第3四半期連結累計期間には194億円、それぞれ含まれております。

(3) 地域別の売上収益に関する情報

(単位：億円)

	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	2025年3月期 第3四半期連結累計期間
日本	2,402	2,323
米国	1,186	1,247
アジア	104	122
欧州	206	50
その他	—	4
合計	3,899	3,746

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。
 2. 当第3四半期連結累計期間よりDeciphera Pharmaceuticals, Inc.の売上収益が計上されたことに伴い、地域別情報の区分を見直しました。

(4) 開発品（がん領域）の主な進捗状況

2025年1月24日現在

<申請中開発品>

*) : 共同研究により創出された化合物を含む

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	自社*) / 導入
オブジーボ点滴静注 /ニボルマブ	効能 追加	肝細胞がん	注射	日本	自社 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ヤーボイ点滴静注液* /イピリムマブ	効能 追加	肝細胞がん	注射	日本	導入 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

★ : 「オブジーボ」との併用試験

<臨床試験中開発品>

<オブジーボ>		*) : 共同研究により創出された化合物を含む				
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
オブジーボ点滴静注 /ニボルマブ	効能 追加	肝細胞がん	注射	韓国	Ⅲ	自社 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能 追加	膀胱がん	注射	日韓台	Ⅲ	自社 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能 追加	ラブドイド腫瘍	注射	日本	Ⅱ	自社 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能 追加	リヒター症候群*1	注射	日本	Ⅱ	自社 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
<ヤーボイ>		*) : 共同研究により創出された化合物を含む				
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
ヤーボイ点滴静注液* /イピリムマブ	効能 追加	胃がん	注射	日韓台	Ⅲ	導入 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能 追加	肝細胞がん	注射	韓国	Ⅲ	導入 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

★ : 「オブジーボ」との併用試験

2025年3月期第2四半期決算発表からの変更点

※1 : 「オブジーボ」について、日本で「リヒター症候群」を対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。リヒター症候群 (RT) は慢性リンパ性白血病から、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫及びホジキンリンパ腫などに形質転換した病態と定義されます。RT発症後の予後は不良で薬事承認された薬剤はなくアンメットニーズの高い希少な疾患です。

※ : 「オブジーボ」と「ヤーボイ」との併用療法について、「尿路上皮がん」を対象とした国際共同試験の最終解析の結果、主要評価項目の一つであるシスプラチン不適応の集団における全生存期間 (OS) において、事前に規定した統計仮説を満たすことができなかつたため表から削除しました。

なお、がん領域の薬剤において、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。

<ONO-4538皮下注製剤> ※) : 共同研究により創出された化合物を含む						
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
ONO-4538HSC	新有効成分	固形がん	注射	日本	I	導入 (Bristol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
<I-0関連> ※) : 共同研究により創出された化合物を含む						
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
ONO-4578*	新有効成分	胃がん／プロスタグランジン受容体 (EP4) 拮抗作用	錠	日韓台	II	自社
ONO-4482* (BMS-986016) /Relatlimab	新有効成分	悪性黒色腫 ／抗LAG-3抗体	注射	日本	I / II	導入 (Bristol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-7427*	新有効成分	固形がん／抗CCR8抗体	注射	日本	I / II	導入 (Bristol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-7475* /Tamnorzatinib	新有効成分	膵がん ／Ax1/Mer阻害作用	錠	日本	I	自社
ONO-4578*	新有効成分	結腸・直腸がん ／プロスタグランジン受容体 (EP4) 拮抗作用	錠	日本	I	自社
	新有効成分	非小細胞肺がん ／同上	錠	日本	I	自社
ONO-7913* /マグロリマブ	新有効成分	膵がん／抗CD47抗体	注射	日本	I	導入 (ギリアド社)
	新有効成分	結腸・直腸がん／同上	注射	日本	I	導入 (ギリアド社)
ONO-7914*	新有効成分	固形がん／STINGアゴニスト	注射	日本	I	自社
ONO-7428**2	新有効成分	固形がん ／抗ONCOKINE-1抗体	注射	日本	I	導入 (NEX-I社)

★ : 「オブジーボ」との併用試験

2025年3月期第2四半期決算発表からの変更点

※2 : 抗ONCOKINE-1抗体「ONO-7428」について、日本で「固形がん」を対象としたフェーズ I 試験を開始しました。

※ : 抗LAG-3抗体「ONO-4482」と「オブジーボ」との併用療法について、「肝細胞がん」を対象とした国際共同試験を Bristol・マイヤーズ スクイブ社主導で実施しておりましたが、期待した有効性が確認できなかったため表より削除しました。

※ : プロスタグランジン受容体 (EP4) 拮抗薬「ONO-4578」について、日本で「膵がん」を対象としたフェーズ I 試験を実施していましたが、戦略上の理由により「膵がん」を対象とした開発を中止しました。

なお、がん領域の薬剤において、同じ予定効能 (がん腫) の場合は、最も進んでいるフェーズ (臨床ステージ) を記載しております。

<その他> *) : 共同研究により創出された化合物を含む						
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
QINLOCK /Ripretinib	効能 追加	消化管間質腫瘍 2次 KIT エキソン11+17/18 ／KIT阻害作用	錠	北南米、欧、 豪など	Ⅲ	自社 (デシフェラ社)
ONO-4059 /チラブルチニブ塩酸 塩	新有効 成分	中枢神経系原発リンパ 腫／BTK阻害作用	錠	米国	Ⅱ	自社
DCC-3116	新有効 成分	固形がん (Sotorasib併 用) ／ULK阻害作用	錠	米国	I / Ⅱ	自社 (デシフェラ社)
	新有効 成分	悪性腫瘍 (Ripretinib 併用) ／同上	錠	米国	I / Ⅱ	自社 (デシフェラ社)
DCC-3084	新有効 成分	悪性腫瘍 ／Pan-RAF阻害作用	錠	米国	I / Ⅱ	自社 (デシフェラ社)
DCC-3009 ^{※3}	新有効 成分	消化管間質腫瘍 ／Pan-KIT阻害作用	錠	米国	I / Ⅱ	自社 (デシフェラ社)
ONO-7475 /Tamnorzatinib	新有効 成分	EGFR遺伝子変異陽性非 小細胞肺癌 ／Axl/Mer阻害作用	錠	日本	I	自社
ONO-4578	新有効 成分	ホルモン受容体陽性 HER2陰性乳がん／プロ スタグランジン受容体 (EP4) 拮抗作用	錠	日本	I	自社
ONO-4685	新有効 成分	T細胞リンパ腫 ／PD-1×CD3二重特異性 抗体	注射	日米	I	自社
ONO-7018	新有効 成分	非ホジキンリンパ腫、 慢性リンパ性白血病 ／MALT1阻害作用	錠	日米	I	導入 (コーディア社)
ONO-8250	新有効 成分	HER2陽性固形がん ／iPS細胞由来HER2 CAR-T細胞療法	注射	米国	I	自社 (フェイト社と共同開 発)

2025年3月期第2四半期決算発表からの変更点

※3 : Pan-KIT阻害薬「DCC-3009」について、米国で「消化管間質腫瘍」を対象としたフェーズ I / Ⅱ 試験を開始しました。

なお、がん領域の薬剤において、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。

(5) 開発品（がん領域以外）の主な進捗状況

2025年1月24日現在

<申請中開発品>

*) : 共同研究により創出された化合物を含む

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	自社*) / 導入
DCC-3014 /Vimseltinib	新有効成分	腱滑膜巨細胞腫 ／CSF-1受容体阻害作用	錠	米欧	自社 (デシフェラ社)

<臨床試験中開発品>

*) : 共同研究により創出された化合物を含む

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
ONO-2017 /Cenobamate	新有効成分	てんかん強直間代発作 ／電位依存性ナトリウム電 流阻害/GABA _A イオンチャネ ル機能増強作用	錠	日本	Ⅲ	導入 (エスケー社)
	新有効成分	てんかん部分発作 ／同上	錠	日本	Ⅲ	導入 (エスケー社)
ベレキシブル錠 /チラブルチニブ塩酸 塩	効能 追加	天疱瘡／BTK阻害作用	錠	日本	Ⅲ	自社
ONO-2808	新有効成分	多系統萎縮症 ／S1P5受容体作動作用	錠	日米	Ⅱ	自社
DCC-3014 ^{*4} /Vimseltinib	新有効成分	慢性移植片対宿主病 ／CSF-1受容体阻害作用	錠	米国	Ⅱ	自社 (デシフェラ社)
ONO-2020 ^{*5}	新有効成分	アルツハイマー型認知症/ エピジェネティクス制御作 用	錠	日米	Ⅱ	自社
	新有効成分	アルツハイマー型認知症に 伴うアジテーション／同上	錠	日本	Ⅱ	自社
ONO-1110 ^{*6}	新有効成分	帯状疱疹後神経痛／内因性 カンナビノイド制御作用	錠	日本	Ⅱ	自社
	新有効成分	線維筋痛症／同上	錠	日本	Ⅱ	自社
	新有効成分	ハンナ型間質性膀胱炎 ／同上	錠	日本	Ⅱ	自社
	新有効成分	うつ病／同上	錠	日本	Ⅱ	自社
	新有効成分	社交不安症／同上	錠	日本	Ⅱ	自社
ONO-4685	新有効成分	自己免疫疾患 ／PD-1×CD3二重特異性抗 体	注射	日欧	Ⅰ	自社
ONO-4915	新有効成分	自己免疫疾患 ／PD-1×CD19二重特異性抗 体	注射	日本	Ⅰ	自社

2025年3月期第2四半期決算発表からの変更点

※4 : CSF-1受容体阻害薬「DCC-3014」について、米国で「慢性移植片対宿主病」を対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。

※5 : エピジェネティクス制御薬「ONO-2020」について、日米で「アルツハイマー型認知症」を対象としたフェーズⅡ試験を、日本で「アルツハイマー型認知症に伴うアジテーション」を対象としたフェーズⅡ試験をそれぞれ開始しました。

※6 : 内因性カンナビノイド制御薬「ONO-1110」について、日本で「帯状疱疹後神経痛」「線維筋痛症」「ハンナ型間質性膀胱炎」「うつ病」「社交不安症」を対象としたフェーズⅡ試験をそれぞれ開始しました。

※ : シュワン細胞分化促進薬「ONO-2910」について、日本で「化学療法誘発末梢神経障害」を対象としたフェーズⅡ試験を実施していましたが、期待された有効性が確認できなかったため、「化学療法誘発末梢神経障害」を対象とした開発を中止しました。